

Koku Sun

Value Interview

周産期・婦人科部

つながっていく命の輪を
「安全」というキーワードで守る

2016 SUMMER
VOL

24

Value Interview

新任部長紹介（看護部部长／薬剤部部长）

最新医療

慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）におけるバルーン肺動脈形成術（BPA）後の心臓リハビリの有効性を確認

第3回S-1g大会を実施しました！

減塩食のレシピ

連携医紹介

● 国立循環器病研究センター理念

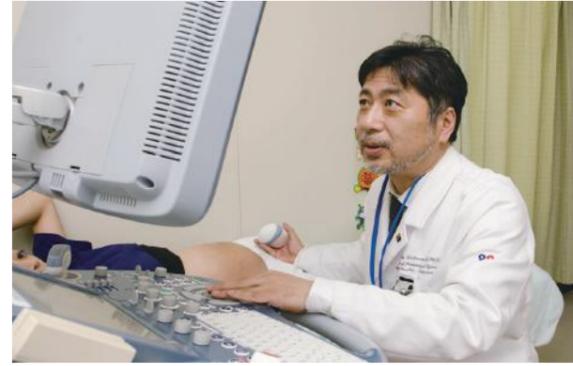
私たちは、国民の健康と幸福のため、高度専門医療研究センターとして循環器疾患の究明と制圧に挑みます。

● 基本方針

- 1 循環器病のモデル医療や世界の先端に立つ高度先駆的医療を提供します。
- 2 透明性と高い倫理性に基づいた安全で質の高い医療を実現します。
- 3 研究所と病院が一体となって循環器病の最先端の研究を推進します。
- 4 循環器病医療にかかわるさまざまな専門家とリーダーを育成します。
- 5 全職員が誇りとやりがいを持って働ける環境づくりを実践します。



女性医師もたくさん在籍しています。



エコーでの診察風景。4D画像も見られます。

Value Interview 6 「周産期・婦人科部」

つながっていく命の輪を「安全」というキーワードで守る

周産期・婦人科部 部長 吉松 淳



吉松 淳 (よしまつ じゅん) / 周産期・婦人科部 部長

〈専門領域〉周産期学
 〈学会活動など〉
 日本胎盤学会理事、日本糖尿病・妊娠学会評議員、日本妊娠
 高血圧学会理事、日本産婦人科・新生児血液学会評議員、
 腎と妊娠研究会理事、大阪産婦人科医会理事、日本周産期・
 新生児医学会評議員、日本産科婦人科学会認定専門医、日本
 産科婦人科学会認定指導医、母体保護法指定医、産科医療
 保障制度原因分析委員会部会委員、大阪府周産期医療協議会
 委員、日本母体救命システム普及協議会企画運営委員、近畿
 産科婦人科学会学術委員会周産期研究部会委員、大阪医科大学
 産婦人科臨床教授、香川大学産婦人科臨床教授、国際周産期
 アカデミーメンバー

生まれる前に心疾患を診断するこ
 とで、生まれてからの治療にスムー
 ズに移行することができ、赤ちゃ
 んに大きなメリットがあります。
 そのためには正確な診断が必要で、
 検査技師、産婦人科医、小児循
 環器科医が協力してお腹の中か
 なり細かい部分まで正確に診断を
 しています。私達はお腹の中の赤
 ちゃんの正確な診断に基づき、予
 想される生まれた後の経過をシ
 ミュレーションし、どのような準備
 をしてどのように生まれてきても
 らうのかを小児科医、外科医、
 麻酔科医と協力して検討していま
 す。その上でこそ生まれた後の治
 療に良い形でつながられる妊娠・
 分娩管理が行えるのです。私たち
 はこの胎児心臓の診断技術を他
 の施設で赤ちゃんに心臓の病気が
 あると診断され受診される妊婦さん
 に限らず、広く胎児心臓ドックと
 して提供しています。もちろん

お腹の中の赤ちゃんの診断は心臓
 に限ったことではありません。心
 臓の病気の診断技術は胎内での
 他の異常の診断にも大きく生かさ
 れます。もちろん全てではありません
 せんが多くのことがお腹の中でわ
 かります。このように先端的技術
 と知識は赤ちゃんの安全にも十分
 生かされているのです。
 国立循環器病研究センターで周
 産期医療を行うときにいつも思う
 ことが有ります。それは「心疾患
 を持つ赤ちゃんが国立循環器病研
 究センターで生まれ、治療を受け
 て育っていく、そして、大人になっ
 て妊娠し、自分の生まれた国立循
 環器病研究センターで子どもを産
 む。私達の施設はそんなふうに生
 命がつながっていく場所でありたい
 ということなんです。つながっていく命
 の輪を「安全」というキーワード
 で守っていくことが私達の使命だと
 思っています。



周産期・婦人科部では年間
 約300例の分娩を取り
 扱っています。国立循環器病研究
 センターの特性から心疾患を持つ
 お母さんの妊娠・分娩管理、脳
 血管疾患を持つお母さんの妊娠・

分娩管理、そして、赤ちゃんに心
 疾患があるお母さんの妊娠・分娩
 管理を主として行っています。そ
 れぞれ国内有数の数の分娩がこの
 国立循環器病研究センターで行わ
 れています。
 例えば、心疾患を持つお母さん
 の妊娠・分娩では、お母さんが自
 分の病気とも闘いながら、命がけ
 でお産します。その現場ではとて
 も難しい管理が求められます。こ
 のようなハイリスク妊娠の管理を
 する中で、最も求められるのは安全

です。いかに母児ともに安全な
 分娩を行っていくのか、常にその
 ことを最優先としています。妊婦
 さんご自身、ご主人を始めとす
 る妊婦さんを支えるご家族の皆さ
 んに寄り添いながら安全な分娩を
 提供しています。国内最高レベル
 の難しい妊娠・分娩管理を行う
 国立循環器病研究センターは、国
 内最高レベルの安全なお産を提供
 できる場所ともいえるのです。
 前もつてのリスクがない妊婦さん
 でも分娩時にはとても危険な状態
 に陥ることが有ります。ハイリスク
 妊娠、分娩で培った知識や技術は
 そのような場合にも生かされます。
 とても難しい妊娠・分娩管理を
 行っているからこそ突然発症する
 様々な危機的状況に対応できるの
 です。
 私達の診療のもう一つの中心は
 お腹の中にいる赤ちゃんが心疾
 患を持つ場合の妊娠管理です。



看護師と助産師が出産後もサポートいたします。



母子ともに元気で出産を終えられるのが、何よりの喜びです。

S-1g 第3回 S-1g大会を実施しました!

循環器病予防につながる減塩を推進する活動と地産地消を応援する目的で、美味しい減塩食を全国各地から発掘する減塩レシピコンテスト「第3回 S-1g (エスワングランプリ) 大会」を、2016年6月4日、大阪ガスハグミュージアム (大阪市西区) で開催しました。午前中に参加 14 チームが自慢の減塩食の調理を、午後に各地での取組みのプレゼンテーションを実施しました。

今回グランプリを獲得したのは、岩手県立中央病院による「かるしおで美味すぎ! 彩り野菜のキーマカレー」でした。どのチームも最後まで一生懸命調理や発表をしていただき、とても盛り上がった大会になりました。

かるしおで美味(うま)すぎ!
彩り野菜のキーマカレー
岩手県立中央病院 栄養管理室チーム女子



調理風景



表彰式

一品料理レシピ 減塩食のレシピ

根菜と油揚げのごまみそ汁

使用材料 (2人分)

じゃがいも	80g	《調味料》	
大根	60g	みそ	16g
人参	20g	白練りごま	10g
油揚げ	5g	白すりごま	2g
青葱	6g	かつおだし	300cc

- 作り方・切り方
- ①じゃがいも、大根、人参は7~8mm角の拍子木切りにする。
 - ②油揚げは7~8mm幅に切る。
 - ③青葱は小口切りにしておく。
- 仕上げ・盛り付け
- ①鍋に出し汁を入れて煮たてから青葱以外の野菜を入れ、柔らかくなった後、みそ、練りごまを溶き入れる。
 - ②器に盛り、すりごまをふり、青葱を天盛りにする。



連携医紹介②

医療法人琢生会 神田マタニティクリニック

当院は、吹田市江坂に位置する産婦人科医院で、「加藤産婦人科」から「神田マタニティクリニック」と改称し10年目となります。国立循環器病研究センター (国循) 出身の医師を含め4人の常勤医師が在籍しており、年間約900人のベビーが誕生しています。また吹田市で唯一の公的臍帯血バンクの採取施設に認定されています。



当院から国循へは胎児先天性心疾患、循環器病合併妊娠、遺伝相談や分娩時の救急疾患等で多くの患者様を紹介し診て頂いています。特にここ数年は、吉松部長の主催される毎年の国循周産期セミナー等で胎児エコーの研鑽を重ね、総肺静脈還流異常症、大動脈離断症といった以前は判別困難であった症例も、胎児スクリーニングで診断し紹介できるようになり喜んでおります。今後も最先端の国循のお蔭で、近隣の方が適切に国循を受診できる架け橋となれますようにスタッフ一同で精進する所存です。(院長：神田宏治)

【診療科目】産婦人科
院長/医師 神田 宏治 (かんだ こうじ) 先生
【医師】佐藤 直美、遠藤 紫穂、篠原 智子
【在籍専門医】産婦人科専門医、臨床遺伝専門医、細胞診専門医

〒564-0063 吹田市江坂町3-31-5
(江坂駅、豊津駅等からシャトルバスあり)
TEL: 06-6330-1135 <http://www.kanda-mc.com>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前診 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後診 14:00~16:00	○	○	○	○	○	○	—
夕 診 17:00~19:00	○	○	○	○	○	○	—

【休診日】日・祝の全日と土曜の夕診 (診療は予約制)



慢性血栓塞栓性肺高血圧症 (CTEPH) における バルーン肺動脈形成術 (BPA) 後の 心臓リハビリの有効性を確認

肺循環科医師 福井 重文

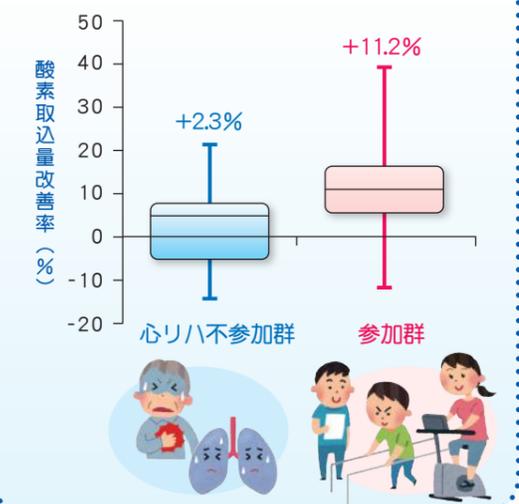
肺に慢性的に血栓ができる心臓から肺に血液を送る肺動脈の血圧が高くなり、肺動脈に血液を送り込む右心室の機能が低下します (右心不全)。この病気が慢性血栓塞栓性肺高血圧症 (CTEPH) です。近年、CTEPHの治療法としてカテーテルを用いて肺動脈内で風船 (バルーン) を膨らませて詰まった箇所を広げる「バルーン肺動脈形成術 (BPA)」が注目されています。様々な研究から肺動脈血圧の低下のみならず右心室機能の改善や自覚症状の改善などの効果や安全性が認められているからです。

一方、中には複数回 BPA 施術後も息切れなどの心不全症状や運動能力が改善しない例も少なくないことが、BPA の新たな問題点として注目されています。この問題に対し、心臓リハビリテーション (心リハ) の有効性を確認する研究を実施しました。

本研究では、BPA 施術後 1 週間以内に心リハを開始し 12 週間実施したグループと心リハを実施しないグループの、心リハ実施期間終了後のそれぞれの運動機能回復の度合いを確認しました。その結果、心リハ不参加群では治療直後から比べて 2.3%向上したのに対し、心リハ参加群では 11.2%も向上していました (図)。また、年齢から予測する運動能力と比較し 80%以上の運動能力があれば正常といえますが、12 週間の心リハに参加した患者さんの運動

能力は年齢から予測する値の 78%程度と、ほぼ正常値に近いレベルにまで回復したことも明らかになりました。

図 心リハ実施の有無における、酸素取込量 (運動機能改善を示す) の比較



CTEPH 患者さんは従来安静が望ましいと考えられていましたが、本研究により積極的な心リハは BPA 術後の機能回復に非常に有効であるとわかりました。体を動かした際の血中酸素濃度低下により在宅酸素療法を併用しなければならないケースが多いという問題もあるため、今後は従来の運動療法に加え呼吸筋力や血中酸素濃度を改善させるようなリハビリ手法の確立が望まれます。



かるしお祝い膳の提供について

国立循環器病研究センターで出産される患者様には心臓や脳血管に合併症をお持ちの方が多くいらっしゃいます。出産を終了してもしばらくの入院管理や、その後も元々お持ちの疾患に対する治療が継続されることがほとんどです。もちろん、無事に出産することが最も重要なことです。リスクを抱える妊婦さんにとってはなおさら安全の確保が優先され、通常以上の医学的管理がなされます。しかし、一方で、妊娠、出産は家族にとってのお祝いごとです。嚴重な医学的管理のもとで出産される当センターの患者様にとってもそのことは変わりません。

多くの分娩を取り扱う施設では“お祝い膳”として分娩後に特別な食事が用意されます。妊娠、出産を乗り越えた妊婦さんへのねぎらいとお祝いの気持ちが込められたものです。私たちは普通よりも多くのリスクを抱えて妊娠、出産された患者様にも新しい命の誕生や、無事出産を終了されたことへのお祝いの気持ちを“お祝い膳”として伝えたいと以前より考えていました。しかし、その様な患者様にはカロリーや塩分の制限が必要な場合が多く、単なる“お祝い膳”を提供することができませんでした。

国立循環器病研究センターでは塩を軽く使ってうまみを引き出す減塩の新しい考え方を「かるしおプロジェクト」として広めることに取り組んできました。入院中の患者様にもこの考え方にそった病院食が提供されています。この「かるしおプロジェクト」のもと、4月より通常の病院食から一歩進んだ“お祝い膳”を提供できるようになりました。何人もの妊婦さんに召し上がっていただき好評を博しております。分娩後の落ち着いた状態を確認し、周産期病棟スタッフ、栄養管理室スタッフそれぞれからのお祝いメッセージとともに届けられるこの“かるしお祝い膳”は安全な医療の提供とともに、人生における大きなイベントである出産に対する祝福の気持ちを届けるものなのです。



INFORMATION 硬膜外麻酔下無痛分娩について

心臓に病気のあるお母さんの分娩では硬膜外麻酔による無痛分娩が行われます。国立循環器病研究センター周産期・婦人科部では多くの心疾患患者さんの分娩を取り扱っており、日常的に無痛分娩を行っています。無痛分娩をご希望される方はどうぞお問い合わせください。



交通アクセス

- JR東海道線・新幹線「新大阪」駅下車→地下鉄御堂筋線・北大阪急行線「千里中央」駅下車→阪急バス5番乗場（一部6番乗場）「循環器病センター前」下車
- 阪急電鉄千里線「北千里」駅下車→阪急バス5番乗場「循環器病センター前」下車
- 大阪国際空港（伊丹空港）→大阪モノレール「千里中央」駅下車→阪急バス5番乗場（一部6番乗場）「循環器病センター前」下車
- 名神高速道路「吹田IC」より約10分
- 名神高速道路「茨木IC」より国道171号線「今宮交差点」を経て約20分



【お問い合わせ】

国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 〒565-8565 大阪府吹田市藤白台5丁目7番1号
国立循環器病研究センター総務課広報係 TEL: 06-6833-5012 (代) <http://www.ncvc.go.jp>

